１．事業概要

１．１　目的

訪日グローバル・キャンペーン(JNTO)に対応したコンテンツが、特に地方部をはじめとして、全国的に不足している情報を踏まえ、地方運輸局と DMO が連携して、訪日グローバルキャンペーン等に活用できる新たな滞在型コンテンツを全国各地域に創出する。

地域の住民と連携し、欧米豪のインバウンド観光客が地域の自然・歴史・文化などを楽しめる体験型コンテンツ等の受入環境を整備することと、同地域が保有する日本一の水質を誇り、透明度の高い川や日本有数の魚種が生息する海など、豊富な自然を活かしたコンテンツの創出、磨き上げを行う。また、川、海、秘境を活かした自然体験と高知県の食、文化、歴史体験を組み合わせることによりオリジナリティを高める。

１．２　業務概要

事業名　　訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業～まだ見ぬ日本の秘境（高知県）～
連携する DMO と事業対象エリア：
（一社）仁淀ブルー観光協議会　　（土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村）
（一社）幡多広域観光協議会　　（宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町）
（一社）高知県東部観光協議会　　（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）
期間　　令和２年７月１４日～令和３年３月２４日

１．３　業務内容及び体制

①情報分析と整理
既存調査等の分析、地域の実状をまとめ、コンテンツ抽出方針を定める。

②第１回モニターツアー及びコンテンツ選定検討会
コンテンツ抽出方針に基づき選定されたコンテンツを中心にコンテンツを体験する現地視察を行い。コンテンツ選定基準に基づきコンテンツの選定を行った。

③第２回モニターツアー及び意見交換
モニターツアーを行い外国人有識者より、コンテンツの磨き上げを行うための意見をもらう。

④コンテンツ造成、磨き上げ
外国人有識者等から得た意見を元にコンテンツ付加価値、満足度を上げること繋がるコンテンツ遂行に必要な多言語情報提供ツールを作成する。

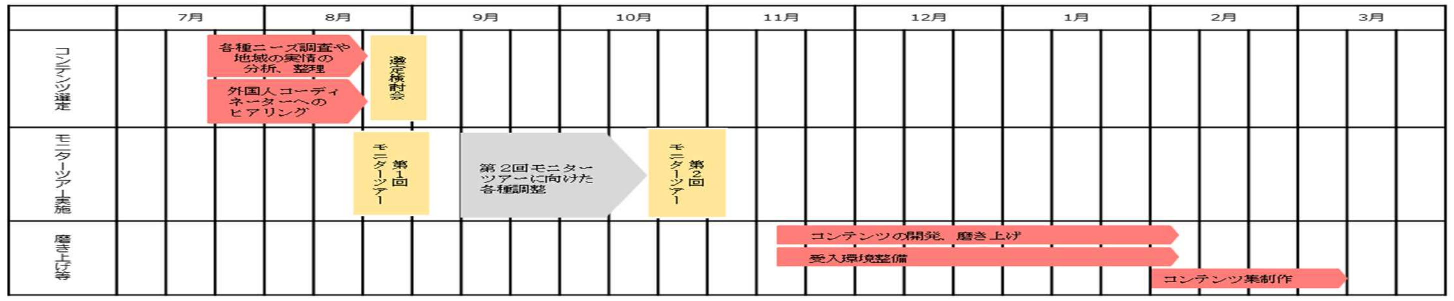
	準備期	コンテンツの検討	コンテンツ造成基盤	コンテンツの検証	商品化へ
仁淀	情報分析と整理 （コンテンツ選定に向けた基礎資料作成） ①各DMOへのヒアリング等により、地域の実情(受け入れ環境やガイドの課題点等)の分析、整理 ②コンテンツ選定基準の明確化 ③各エリアのコンテンツ資料を外国人コーディネーターへの説明。コメントの整理。	第１回モニターツアー ＋ コンテンツ選定検討会	第２回モニターツアー （課題抽出のための意見交換会を含む）		商品化へ向けた整備 ①コンテンツの開発・磨き上げ ②受入環境整備 ③コンテンツ素材集作成
幡多		第１回モニターツアー ＋ コンテンツ選定検討会	第２回モニターツアー （課題抽出のための意見交換会を含む）		
東部		第１回モニターツアー ＋ コンテンツ選定検討会	第２回モニターツアー （課題抽出のための意見交換会を含む）		

本事業を円滑かつ効果的に実施するために、外国人コーディネーターを選任し、事業全般を通じて、外国人目線の意見を取り入れられる体制で事業を実施した。
また、地域の実情に合わせたアドバイス等がより効果的に実現できるように外国人コーディネーターに加えて、外国人エリアマネージャーを各エリア１名選任した。

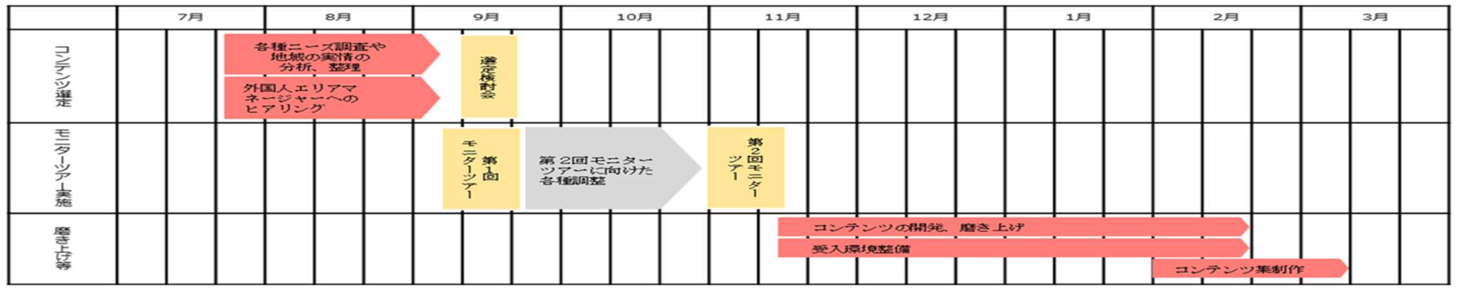
１．４　業務工程

以下のスケジュールで実施した。

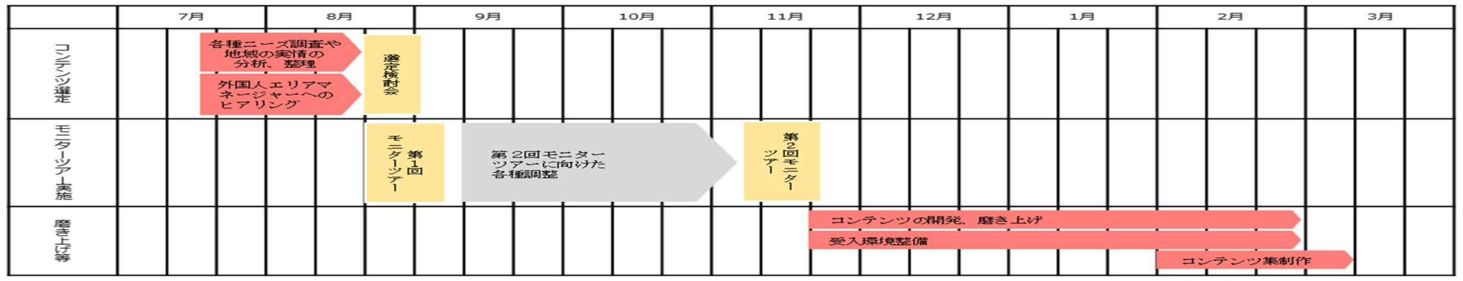
仁淀エリア



幡多エリア

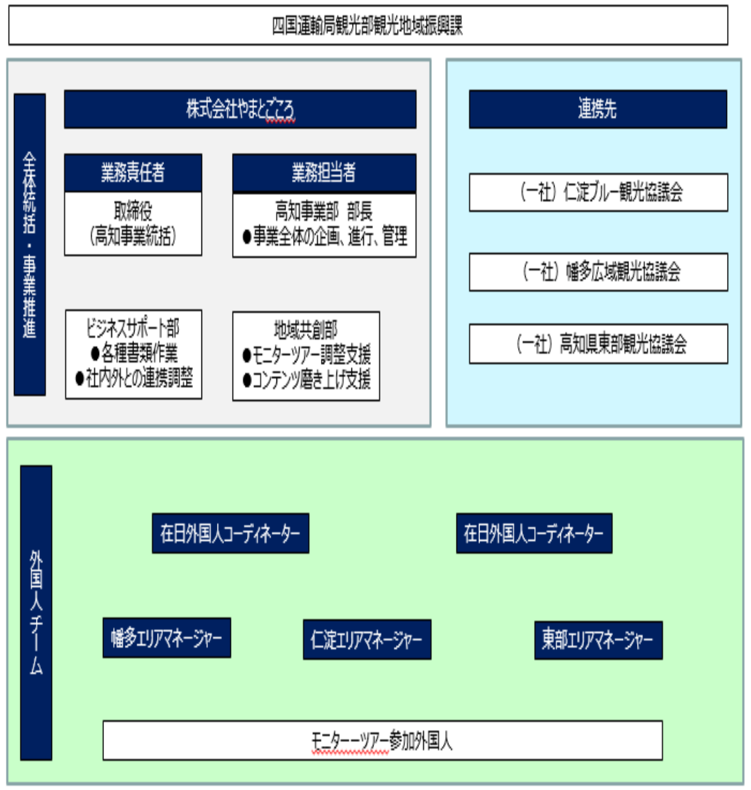


東部エリア



１．５　体制図

以下の体制で実施した。



２．訪日外国人を対象とした既存調査の分析、地域の状況把握

２．１　既存調査の分析

〈ターゲット国分析〉

事業を開始するにあたり、観光庁が行っている訪日外国人消費動向調査、経済産業省と内閣官房が提供する地域経済分析システム（RESAS（リーサス））、JNTO 訪日旅行誘致ハンドブック 2020 等の既存調査を活用しターゲット国の特徴、志向を分析し、各エリアのコンテンツ抽出方針の作成に活用した。

国別の特徴：アメリカ

①アメリカからの訪日旅行者

- 2018年の米国人の渡航先を地域別に見ると、ヨーロッパが約1,770万人で最も多く、次いでカリブが約870万人、アジアは第３位で約620万人であった。アジアの中で2018年に最も米国人観光客が多かった国・地域は中国（249万人）で、次いで日本（153万人）、タイ（112万人）の順であった。
- 訪日客の増加要因は、ここ数年、日本んお国および各都市が「訪問すべき国・都市」として、有名旅行情報誌等で取り上げられて露出が増えていること、健康志向などから日本食ブームとなっていること、米国で人気が高いクルーズ旅行の形態で日本周遊クルーズ旅行をする需要が増えていること、以前はゴールデンルートが中心であった訪日旅行商品に、北陸・中部・四国行きのものも増えて、多様な旅行商品が供給されていることなどが挙げられる。

②一般消費者の志向の変化

（1）健康志向

- 肥満が米国の一大社会問題となっており、ダイエット食品や運動への関心は高い。
- 自然食品への嗜好が高まっている。日本食も、低カロリーでおいしい健康食としての評価に下支えされている。

（2）自然環境（エコロジー）

- 元来、米国人の生活は使い捨ての傾向が強かったが、地球の温暖化がもたらすとされる異常気象や自然災害への反応として、自然環境への関心が高まっている。

（3）体験観光（アドベンチャー）

- 単なる物見遊山から一歩進んで、山歩きやロッククライミングなど、自分の体力に見合った範囲で屋外活動に参加して、自然に触れることを好む傾向が出てきている。

（4）趣味の追求

- 戦後のベビーブーム世代が引退の時期を迎え始め、ワインや食事、インテリアや建築など、個人の趣味を追求する傾向が高まっている。
- 米国が持ち合わせていない歴史や文化への憧れもあり、旅行地でこうした憧れや自分の趣味を追求できることを魅力の１つとして考える米国人が増えている。

引用：JNTO訪日旅行誘致ハンドブック2020

国別の特徴：オーストラリア

①オーストラリアからの訪日旅行者数

- 日本政府観光局(JNTO)の統計では、2019年の訪日豪州人数は、前年比12.6%増の62万1,800人と、初めて単年で60万人台に達した。過去８年間、10%～20%の好調な伸びを記録しており、新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、今後も増加が期待できる市場だった。

②訪日豪州人の特徴

- 観光庁の「訪日外国人消費動向調査（2018年）」によると、2018年の訪日豪州人の平均滞在泊数は13.3泊出会った。訪日豪州人の中には欧米へ向かう経由客も含まれてるが、経由客は日本での滞在日数が短く、訪日豪州人全体の平均滞在日数を押し下げていることから、実際の訪日豪州人観光客の滞在日数はこれより長いと見られる。
- 訪日豪州人は、１人当たりの旅行支出が高いことが特筆される。同調査では、調査対象20市場の中で、豪州人の旅行支出が最も高く、24万2,041円であった。買い物台がアジア市場からの訪日旅行者に比べると少なく、娯楽・サービス代（体験費用など）が多いことが特徴として挙げられる。

③一般消費者の志向の変化

（1）グルメ志向

- 食に対する関心が高く、テレビ番組でも食をテーマとする物が多い。

（2）健康志向・自然志向

- 自然に恵まれた雄大な国土に暮らす豪州人にとっては、自然に接して健康的な余暇を過ごすことが、日常的な生活スタイルとなっている。
- グレートバリアリーフなどの自然遺産を有する豪州は、山火事などの自然災害も多い。そのため自然保護への意識が高い。
- 動物保護への意識も高い。動物に関する施設や体験を紹介する場合、十分に注意を要する。基本的に動物園は好まれないが、動物が自然に近い環境（例えば地獄谷野猿公苑や岩田山モンキーパーク）で生息しているのであれば問題ない。
- 近年、ヴィーガン（絶対菜食主義者）やベジタリアン（菜食主義者）が急増している。2018年のロイ・モーガンの調査では、豪州には250万人（人口の12.1%）のベジタリアンがいる。
- 豪州では、捕鯨問題が取り上げられることが多い。調査捕鯨を行う日本の行動に対して、基本的に反対の立場を取る人が多く、敏感な問題であることに留意する必要がある。

④気候・風土が外国旅行に与える影響

- 豪州は日本の20倍と言う広大な国土を持ち、熱帯から温帯までの気候帯に位置している。国土の39%が熱帯に属しており、季節の移り変わりや自然の変化に乏しいため、日本の起伏に富んだ美しい山並みや、春の桜から新緑、秋の紅葉へと移り変わる四季折々の自然景観は、豪州人には魅力的に映る。
- 豪州の冬の期間は、暖かさを求めるため、ビーチリゾートや、気候が良いヨーロッパへの旅行が人気である。

引用：JNTO訪日旅行誘致ハンドブック2020

国別の特徴：イギリス

①イギリスからの訪日旅行者数

- 2019年の訪日英国人数は、ブリティッシュ・エアウェイズのロンドン・関空便の20年ぶりの復活（2019年3月）や、ラグビーワールドカップの日本での開催（2019年9～11月）を受けて、過去最高の42.4万人（前年比27.0%）に及んだ。
- 訪日旅行の潜在需要は、日本食や日本の現代文化と伝統文化のコントラスト、自然景観、高水準のサービスなどを背景に、満足度が高い旅行地というイメージが浸透しており、今後も大きいと考えられる。

②訪日英国人の特徴

- 英国人には、新幹線の乗車体験や、温泉及び旅館体験への人気が高い。また、日本食、ロボットなどのハイテク、ショッピングや若い年齢層を中心にポップカルチャーなども人気がある。日本の新旧の魅力が訪日旅行の主な動機となっている。

③旅行に対する一般消費者の考え方

- 英国人が休暇中に旅行をするのは極めて一般的なことである。英国人の伝統的な夏期休暇の過ごし方は、温暖なビーチリゾートで過ごすことと言っても過言ではない。
- 豊かな自然に恵まれた英国では、余暇に自然に親しむことが生活の一部となっている。特にウォーキングやバードウォッチング、乗馬が盛んである。ハイキングコースなどのインフラも充実している。サッカー、水泳、ジョギング、モータースポーツ、テニス、ラグビー、スキー、スノーボードを楽しむ人も多い。

④一般消費者の志向の変化

（1）持続可能な観光（サステナブル・トラベル）／責任ある観光（リスポンシブル・トラベル）

- 英国では、「エシカル（環境や社会への配慮）」や「サステナブル（持続可能性）」という概念が社会的に定着している。各企業では、環境問題など多面的に、持続可能な社会に向けた取り組みに関する情報の開示を行っており、学校では、「持続可能性」に関する教育が進んでいる。
- 旅行業界でも、グリーンツーリズム（農漁村体験観光）の認証取得や、カーボン・オフセット活動など、先駆的な取り組みが行われている。
- 消費者の間でも、環境への影響など、持続可能な社会を作る意識や、社会的責任が高まっている。旅行の予約時に野生動物や環境の保護活動に寄与する旅行商品や、地元の観光資源を活用した地元のガイドによるツアー、環境に配慮した仕入れ・運用を行う宿泊施設などを選択する傾向が強まっている。
- 英国人旅行者を惹き付ける上で、持続可能性への意識・取り組みが感じられる旅行商品の開発や情報開示が、非常に重要となっている。

（2）健康志向

- 英国はヨーロッパで肥満率が最も高い国であるが、ここ数年、健康ブームが継続しており、年々、健康への関心が高まっている。
- 日本貿易振興機構（JETRO)によると、英国では日本食が健康的であるというイメージが定着しており、健康に対する関心が高まっている英国では、その需要が大きいとしている。

引用：JNTO訪日旅行誘致ハンドブック2020

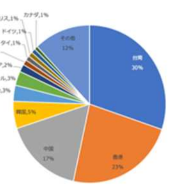
高知県を訪問する外国人旅行者の概況

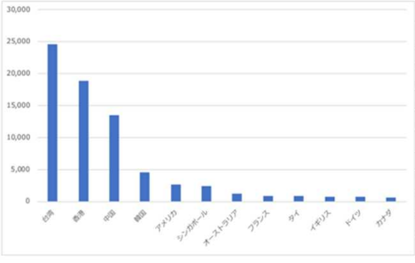
高知県を訪問する外国人旅行者の概況

高知県は、台湾及び香港からの来県者数が多くこの2地域で高知県を訪問する外国人のべ宿泊者数の50%超を占めている。

一方、欧米豪からの来訪者に着目すると、アメリカが第５位、オーストラリアが第７位と欧米豪からの訪問者数では比較的多い。欧州からではフランスが８位、イギリスが１０位となっている。

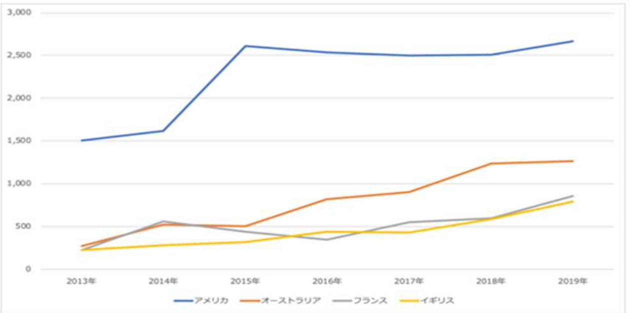
高知県の外国人のべ宿泊者数（2019年）





1	台湾	24,580
2	香港	18,860
3	中国	13,500
4	韓国	4,520
5	アメリカ	2,670
6	シンガポール	2,390
7	オーストラリア	1,270
8	フランス	860
9	タイ	800
10	イギリス	790
11	ドイツ	740
12	カナダ	590

高知県国籍別のべ宿泊者数の推移（欧米豪上位４カ国）（2013年～2019年）



出展：観光庁宿泊統計調査外国人のべ宿泊者数（確定値）

２．２　地域の状況把握

〈エリアの実状と分析〉

各エリアでインバウンドの周遊動態、受け入れの実状等を取りまとめ、各エリアの強み、弱みを整理することによりコンテンツ抽出方針の作成に活用した。

●仁淀エリア

平成27年度に高知県仁淀川流域を構成する6市町村及び各観光協会等で（一社）仁淀ブルー観光協議会を設立。旅行業免許（第2種）を取得し、「地域の旅行会社」として来訪者の利便性を向上させるために、地域情報の一元化や観光周遊メニュー造成などにより、既に仁淀川流域の滞在型・体験型観光を一体的、戦略的に推進している。

①組織の概要

法人名	一般社団法人仁淀ブルー観光協議会
登録区分	地域連携ＤＭＯ
区域	高知県土佐市、いの町、仁淀川町、佐川町、越知町、日高村
所在地	高知県高岡郡佐川町
設立時期	平成27年12月25日

●幡多エリア

高知県幡多地域の６市町村が連携のもと、(一社)幡多広域観光協議会が地域における日本版ＤＭＯとしての役割を担い、体験交流プログラムを活かした旅行商品の企画・造成・販売や地域のプラットフォームとしての情報発信を行うほか、多様な観光関係者との連携による地域一体となった観光地域づくりなどの事業を推進することで、地域全体、そして観光関連以外の各産業への経済的な波及効果を生み出し、地域の活性化に寄与することを目指す。対象区域は宿毛市、土佐清水市及び四万十市並びに幡多郡大月町、三原村及び黒潮町。

①組織の概要

法人名	一般社団法人幡多広域観光協議会
登録区分	地域連携ＤＭＯ
区域	高知県四万十市、宿毛市、土佐清水市、大月町、三原村、黒潮町
所在地	高知県四万十市
設立時期	平成22年6月15日

●東部エリア

平成 28 年 2 月、高知県東部地域 9 市町村と高知県により広域観光組織「（一社）高知県東部観光協議会」を設立。地域の観光戦略づくりや情報発信、受入体制の整備や人材の育成、観光商品の造成・販売、体験プログラムの磨き上げ、民泊の推進等による誘客を進めており、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。対象区域は室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、 芸西村。

DMOがマーケティング･マネジメントする区域

①組織の概要

法人名	一般社団法人高知県東部観光協議会
登録区分	地域連携ＤＭＯ
区域	高知県室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、 芸西村
所在地	高知県安芸市
設立時期	平成 28 年 2 月 26 日

・２．３　コンテンツ抽出方針

〈コンテンツ抽出方針作成〉

事前調査　国別の特徴、地域の実状、コーディネーター、エリアマネージャーの意見等を踏まえコンテンツ抽出方針を作成し、第１回モニターツアーのコンテンツ選定を行った。

水質日本一の仁淀川を活かしたコンテンツ造成

①仁淀川を軸としたコンテンツ選定

水質日本一の仁淀川はそれ自体が欧米豪の旅行者にとっては魅力的なコンテンツ。仁淀川をフックとした誘客を進めるためにも、本事業で創出、磨き上げるコンテンツは、基本的には仁淀川と紐付けることができることが望ましい。

②仁淀川と食・文化・歴史体験等の組み合わせ

食・文化・歴史体験等のコンテンツは、単独だと日本の他の地域との差別化が難しい可能性が高い。仁淀川とストーリーを関連付ける、もしくは仁淀川のコンテンツと組み合わせた商品とすることで、他の地域にはないコンテンツを目指す。

③欧米豪の中でも特に欧州をメインターゲットとする

仁淀川の清流と渓谷の自然美に加えて、文化的な素材も多く集まった仁淀川エリアは、文化や歴史的な背景を好む欧州からの旅行者をターゲットとできるエリア。エコツーリズムやサステイナブルな要素を取り入れることも欧州からの認知度拡大には重要。

④わざわざ高知まで来て体験する必要があるコンテンツ

欧州の人にとって、彼らの母国や周辺国でも身近にあるものはコンテンツから外すことで、訪日無関心層に引きになるコンテンツを目指す。

⑤欧米豪の旅行者に分かりづらいコンテンツは避ける

十分なストーリーが背景にある場合でも、分かりやすいコンテンツでなければ訪日無関心層に魅力的なコンテンツとはならない。日本の歴史的もしくは文化的な背景を知らない旅行者にとっても、内容が分かり得るコンテンツを選定する。

海・山・川を１つのエリアで体感

①海のコンテンツである足摺宇和海国立公園を入り口としたコンテンツ選定

国立公園は海外にもあるのでデスティネーションとして分かりやすく、訪日無関心居をターゲットとしたコンテンツとして魅力的。

②海・山・川を１つのエリアで体感

１つの地域で、海・山・川の全部を感じられるのは世界的にも珍しい。分かりやすい海のコンテンツを入り口として、山や川へコンテンツの幅を広げていくことが望ましい。

本事業では海のコンテンツを優先的に抽出したのちに、既存のコンテンツと合わせた際に、海のコンテンツが十分なコンテンツ数存在する場合は、山や川のコンテンツも選定し磨き上げを行う。

③欧米豪の中でも特にオーストラリアをメインターゲットとする

域内への来訪者数が比較的多いと推計されるオーストラリア人をターゲットとしたコンテンツ選定を進める。

④何かをプラスすることで特別感のあるコンテンツを造成する

日本の国立公園はどこも同じようなコンテンツを出しているので工夫が必要。既存のコンテンツに何かをプラスすることで、プレミアムパッケージとして特別なことができると良い。

⑤エコやサステナブルなど学びの観点を加える

地球の環境を考える人が増えていて、海との関係を深めたい人が増えている。環境についての学びが出来る場が今必要とされている。「見に来てください」ではなく、「学びに来てください」という受け側のスタンスが重要。また、自治体がやっているリサイクル等の取り組みを学びにいくことも魅力的。オーストラリア人をメインのターゲットにして自然を見せるのであれば、必ずその裏側の保護の部分をしっかり見せる必要がある。

滞在型観光を促すためのコンテンツ造成

①滞在型の観光を促す

宿泊施設の数が多くはなく、客室数も限られている東部地域では通過型の観光になりがちなことが地域の観光の課題。コンテンツ造成が域内への宿泊を促し、消費拡大に貢献することを意識する。

②認知度の低さを逆転できる特定のテーマに沿ったコンテンツ造成

外国人旅行者への認知度が低い高知県東部が訪日無関心居へアピールするには特定のテーマに沿ったコンテンツ造成が有効。万人受けするコンテンツではなく、特定の趣味嗜好の方に刺さる商品造成を行う。

③宿泊施設と紐付けたターゲティングと商品造成

日本式の宿泊施設に慣れておらず、旅行中の宿泊先に比較的高いレベルを求める欧米豪からの旅行者の場合、さらに宿泊の可能性がある施設は絞られていく。特定のテーマに沿った宿泊施設への滞在を想定した商品作りにより、仮に宿泊施設がハード面・ソフト面ともに通常の欧米豪からの旅行者の基準に達していなくても、テーマに沿ったコンテンツの一部としての滞在と考えることで障壁を下げる。

例えば、以下のような商品が考えられる。

ターゲットとする旅行者が利用する宿泊施設例	商品の例
グランピング施設	自然を満喫できるアクティビティ
北川村・馬路村の宿泊施設	柚子をテーマにした体験
お遍路宿	お遍路体験
農泊	農業体験

３．第１回モニターツアー及びコンテンツ選定検討会

３．１　第１回モニターツアー及びコンテンツ選定検討会の実施

○モニターツアーの開催

コンテンツ抽出方針や外国人コーディネーター、エリアマネージャー等により抽出されたコンテンツを対象にモニターツアーを実施。

	日程	有識者	目的
仁淀エリア	令和２年８月３１日（月）～９月１日（火）	２名	第２回モニターツアーのコンテンツ選定のための外国人コーディネーター、エリアマネージャーによる現地を視察。
幡多エリア	令和２年９月１０日（木）～１１日（金）	２名	
東部エリア	令和２年８月２６日（水）～２７日（木）	２名	

抽出コンテンツリスト

○仁淀エリア

#	コンテンツ名	実施事業者
1	水質日本一・仁淀川で屋形船体験	日高村／屋形船仁淀川　等
2	水質日本一、渓谷から見る仁淀川の絶景ガイドツアー	仁淀川町／仁淀川町の観光を考える会　等
3	水質日本一、仁淀川・沈下橋を巡るラフティング・カヌーガイドツアー	越知町／スノーピーク、仁淀川町／仁淀ブルーふるさと体験センター　等
4	水質日本一、仁淀川キャニオニング、パックラフト、ラフティング	Niyodo Adventure
5	護国寺の住職と歩く修行道	日高村／護国寺
6	伝統の土佐手漉き和紙体験＆絶景の滝壺・にこ淵	いの町／いの町紙の博物館　等
7	標高400mの山にある築70年の日本家屋に泊って、囲炉裏や五右衛門風呂体験	ゲストハウス縁
8	酒ぶら街歩きと司牡丹テイスティング	佐川町／さかわ観光協会
9	茶畑と仁淀川のお茶文化を訪ねる	仁淀川町

○幡多エリア

#	コンテンツ名	実施事業者
1	竜串グラスボート	たつくし海中観光、竜串観光汽船
2	Rock Back in Time 竜串海岸ウォーキングツアー	たつくし海中観光
3	プレミアムビーチでシーカヤックとゆったりシュノーケリング	マリンクラブジョイ
4	温泉・宿泊	海癒の湯
5	足摺岬秘境ハイク	土佐清水市
6	知られざる絶景！沖の島・鵜来島感動クルーズ	幡多広域観光協議会・宿毛渡船組合
7	幡多ビーチパーク（仮称）	黒潮町・四万十市・土佐清水市　等
8	日本最後の清流、四万十川・沈下橋を巡るカヌー・カヤックガイドツアー	四万十市/withRIVER、四万十塾　等
9	四万十川観光遊覧船	なっとく/四万十の碧/さこや /舟母浪漫松廣屋　等

○東部エリア

#	コンテンツ名	実施事業者
1	世界に2つしない庭園 「モネの庭」プライベートツアー	北川村・モネの庭
2	国内生産量日本一、 高知県でゆず収穫体験	安芸市・安田町・北川村のJA 等
3	吉良川町歩き・そば打ち体験	吉良川町並み保存会、松寿寺
4	備長炭窯元見学・炭焼き体験	室戸木炭振興会
5	土佐の霊場88分の4巡り 24～27番札所	室戸市・安田町
6	こんにゃく・田舎寿司づくり体験	せせらぎの郷　小川（安田町）
7	こけら寿司づくり体験	野根キッチン（東洋町）
8	室戸ジオパークガイドツアー	室戸市
9	GEO-SUP体験	東洋町・株式会社オランク

○コンテンツ選定検討会の開催

	日程	参加者	目的
仁淀エリア	令和２年９月１日（火）	１０名	・事前調査に基づくターゲット分析 ・エリアごとの実状の整理 ・コンテンツ候補抽出方針 ・コンテンツ選定基準の策定 ・コーディネーター、エリアマネージャーによるコンテンツ評価 ・コンテンツの選定
幡多エリア	令和２年９月１１日（金）	９名	
東部エリア	令和２年８月２７日（木）	８名	

３．２　コンテンツ選定基準

訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業
～まだ見ぬ日本の秘境（高知県）～

コンテンツ選定の基準

#	コンテンツ選定の視点	ポイント
1	事業趣旨との整合成	欧米豪3市場（英・米・豪）の訪日無関心層に訴求することができる可能性のあるコンテンツか。
		令和3年度内（2022 年 3 月まで）に商品として販売できる見込みか。
2	地域のテーマとの整合性	地域の外国人誘客の方向性と整合した内容か。
3	ストーリー性／希少性	欧米豪の旅行者にとって、コンテンツの背景にあるストーリーを感じられる内容か。
		高知県ならではの歴史や文化、食、自然を組み合わせることで、オリジナリティを高められる可能性があるか。
4	現地との交流	受入事業者が外国人旅行者とコミュニケーションを取ることができる内容・体制か。
		地域の人々とのコミュニケーションが図ることができるコンテンツか。
5	消費拡大における工夫	コンテンツの価格以上の消費を地域内で促すことができるか。（地域内での前後泊、飲食、物販等）
6	画像の訴求力	欧米豪の旅行者が画像を一目見て行きたいと思うか。 （良い画像が現時点でない場合は）今後撮影することにより画像を見て行きたいと訴求できるコンテンツか。
7	受入への積極性	受入事業者が外国人観光客の受け入れに前向きで、本事業終了後も継続した取り組みが期待できるか。
		外国人旅行者を受け入れるにあたっての課題が明確で、本事業を通じて改善される見込みがあるか。

３．３　コンテンツ評価・選定

	コンテンツ名	助言	磨き上げの方向性案
仁淀エリア	護国寺の住職と歩く 修行道	・住職と身近に話すことができるのは魅力的。修行して忍者になったというストーリーも新感覚。 ・日本人向けの8時間のツアーで猿田洞まで入るのは厳しい人もいる。ショートコースを作るなどオプションを作った方が良い。 ・猿田洞に入る場合は、リスク回避のために、参加者に一筆サインしてもらった方が良い。	・外国人向けのルートの構築（ショートコースの設定も行う） ・外国人向けの案内の作成
	仁淀川ガイドツアー	・中津渓谷は渓谷が美しいのはもちろんだが、神様や歴史などを感じられる。 ・1時間では短いので、もっと長いコースを設定したい。 ・近くに日系アメリカ人４世の向井夫妻が運営するクラフトビール醸造所Blue Brewがあるので、組み合わせることで欧米豪の人にはより魅力的になる。	・中津渓谷からBlue Brewまでを結ぶ外国人向けのコースを作る。
	仁淀川での キャニオニング体験	・中津渓谷のような環境でキャニオニングができる場所は日本には他にない。 ・アクティビティが終わった後に、Blue Brewの向井さんのところに立ち寄れるのが流れとしてとても良い。	・第2回モニターツアー前にヒアリングして確認。
	古民家宿泊体験	・規模が大きくないので、消費にどこまでつながるかが懸念点。 ・泊まってもらうだけではもったいない場所。例えば集落を案内してもらえたり、アクティビティとしてラフティングをされているのでそれと組み合わせるなどできると良いかもしれない。	・ゲストハウスの周辺散策 ・ラフティング（第2回モニターツアーで体験の上、判断）
幡多エリア	竜串ウォーキングツアー	・アドベンチャーウォークと呼んで良い。海岸沿いに加えて、展望台まで行った方が良い。 ・ガイド付きツアーのポイントの１つは学びがあること、そしてもう１つはガイドの人そのもの。	·竜串見残し海岸のウォーキングツアーを企画。移動手段としてグラスボートを使う。 ·ガイドをどのようにするか。そのガイドのガイド力をどのように磨き上げるかがポイント。
	四万十川観光遊覧船	・欧米豪の人が求めているものが全て含まれている。グルメもあり、日本らしさもあり、日本の最後の清流四万十川の上、食事も提供できるようになればより付加価値が高くなり、日本的なミステリアスな体験もできる。 ・中村に泊まって、夜のコンテンツとして商品化できれば魅力的。川苔の天ぷらは忘れられない味だが、それを船の上で食べられるのはとても良い体験。	・夕食付きのディナークルーズを新商品として開発する。 ・ツアー実施時に必要なツール等があれば、その整備を行う。
	知られざる絶景！ 沖の島・鵜来島感動クルーズ	・ドーバーの白い崖を想起させる。そこも陸からは見えないので、わざわざ船に乗り見にいき感動するコンテンツ。最近はSNSを見ていても船から何か感動的なものを見るという動画がすごく多い。船から見る氷山、滝、岩など。日本の他ではできないコンテンツとなる。 ・船から見るだけでなく、そこでダイビングやシュノーケリングもできるというのはすごく面白い。	・沖の島の絶壁や洞窟の海岸を軸としたクルーズツアーとして商品を磨き上げる。 ・ツアー実施にあたり、参加者により理解を深めてもらうためのツールを作成する。
	足摺岬秘境ハイク	・白碆にある竜宮神社はその絶景からMust Seeのスポットになる。 ・竜串ウォーキングツアーが好きな人は好きなコンテンツ。 ・通常のコースに加えて、更に先まで歩きたい人向けにプラスのルートがあると良い。 ・ウォーキングマップがあると良い。このエリアの情報が集約された良いスポット。	・ルートを外国人向けにアレンジして、新規のツアーを作る。
東部エリア	東洋町野根地区農泊体験	・こけら寿司単体ではなく、農泊も含めた滞在型のコンテンツとして整備する。 ・宿泊者向けのハウスルールや周辺の散策マップがあると、受け入れ側のストレスも軽減できて、おもてなしにフォーカスできる。	・農家民泊に付随するコンテンツを磨き上げ滞在型観光を促す。 ・こけら寿司をビーガン対応する。
	モネの庭	・単に庭園の見学だけではなく、何かをプラスする。 ・北川村温泉ゆずの宿に宿泊して、宿泊者限定で翌朝開園時間前に入れる（アーリーエントリー）と良い。 ・ランチはビーガン対応ができていてとても良かった。	・入園に何かプラスすることで外国人向けの付加価値を付ける。
	お遍路体験 （第24番札所～第26番札所）	・ツアー開始場所への送迎と終了場所からのピックアップは車にするにしても間の行程は歩きたい。 ・途中で何かあった際に迎えに来てもらえるような体制が必要。 ・冊子でも良いので歩き始める前にお遍路に関する情報のインプットが必要。	・実施主体となる事業者を見つける。 ・ツアーの形で第2回モニターツアーを実施し、専門家から指摘のあった冊子の作成など必要なツールの整備を行う。
	田舎寿司体験	・田舎寿司はゆずを使うので、組み合わせることでより魅力的な商品になる。	・ゆずと組み合わせる。 ・具体的な磨き上げの方向性は、第2回モニターツアーを実施した上で検討する。

４．第２回モニターツアー

〈検討概要〉

・選定されたコンテンツの改善点等の抽出を行うためにモニターツアーを行い、モニターツアー後に外国人有識者等を交えて意見交換を行う。

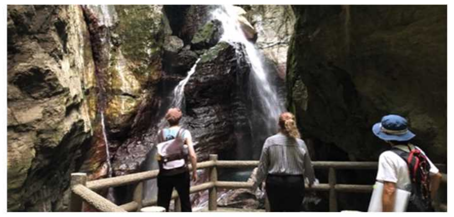
〈得られた結果〉

・コンテンツ磨き上げのための意見を得ることができた。

４．１モニターツアーの実施

仁淀エリア	令和２年１０月２１日（水）～２３日（金）	４名	外国人コーディナーター 外国人エリアマネージャー 外国人有識者
幡多エリア	令和２年１１月３日（祝）～５日（木）	４名	外国人コーディナーター 外国人エリアマネージャー 外国人有識者
東部エリア	令和２年１１月１８日（水）～２０日（金）	４名	外国人コーディナーター 外国人エリアマネージャー 外国人有識者

仁淀エリア



幡多エリア

東部エリア

４．２モニターツアー結果を踏まえての助言整理

	コンテンツ名	助言	対策
仁淀エリア	護国寺の住職と歩く修行道	○全て込み込みの1dayツアーは旅行者に理解されづらい。パーツ的には魅力的なので、もっとシンプルにした方が良い。次の３つのツアーをそれぞれ商品化していく。 ①大滝山のMeditation Walking Tour/②大滝山のMeditation Walking Tour ＋ 猿田洞/ ③猿田洞のみ ○**ツアーの際にパンフレットについては専門家から具体的な改善の助言を頂いたので、参考にして進める。**	・ツアーのコース、地域、修験道などの説明パンフレットの整備
仁淀エリア	仁淀川ガイドツアー	○3時間以上歩くので、お手洗いを含めて10～30分程度の途中休憩ができる場所が必要。 ○今あるガイドの台本を、発音しやすい言葉にする等して改善した方が良い。ガイドのアドリブや質問を通訳してくれるコミュニケーターを起用するのもあり。**植物、茶畑、集落の様子や自信の体験を交えて話をするとより興味深くなる。** ○BLUE BREWは平日16時までの営業なので、午前中出発のツアーにして、お弁当を持っていくのも良いかもしれない。	・新ルート、植物、地域の説明等を含んだガイド台本の整備、
仁淀エリア	仁淀川でのキャニオニング体験	○**他のエリアのキャニオニングと違って特徴的だと感じたのが、文化的なストーリーが背景にあること。**最初にお祈りしてから渓谷に入る。川に神様が住んでいるというのは日本の文化の特徴的なこと。 ○竜王の話をもう少し入れるとさらにスリリングになる。ツアー開始時に竜王の話を聞き、ツアー中にも洞窟に竜王が住んでいるという話を聞く。その場で聞いたときはよく分からなかったので、もう少し詳しく聞けると良い。 ○今はガイド１人でやっているので、いろんな商品を販売してしまうと一番おすすめしたい今の中津キャニオニングが実施できなくなってしまう。**新しい商品を増やしていくのであれば、ガイドを育てていくということとセットになる。**	・今後の新コース造成のための外国人ガイドのためのマニュアルの整備。
仁淀エリア	古民家宿泊体験	○古民家周辺の散策は面白かった。日本人にとっては普通の集落かもしれないが、**外国人にとっては見たことのない植物やおばあちゃんが自分でやっている茶畑があったり、木箱で蜂を飼っていたり、面白いポイントはたくさんあった。** ○散策はとても良かったが、オーナーが英語でガイドをするのは英語力の問題や、他の宿泊者がいた場合に対応できない等の課題もあるため、**周辺の散策マップを作成するのが良い。** ○ラフティングはファミリー層をターゲットとして、宿泊＋BBQ＋ラフティングをセットにして販売していくのが良いのではないか。その場合、申込みや保険等の書類は英語にしておく必要がある。	・宿泊にオプションでラフティングをセットした旅行商品、宿泊施設周辺散策パンフの整備。
幡多エリア	竜串ウォーキングツアー	○ガイドさんのガイディングは非常に評価が高かった。 ○ウォーキングやハイキングを売りにしたツアーとして売り出すには、もう少し歩く距離が長い方が良いのではとの意見も出た。	・ルートの見直し、新たなガイドのためのマニュアルの整備。
幡多エリア	四万十川観光遊覧船	○食事については高評価だったが、**日本をあまり知らない層には食べ方が分からないといった課題が出ることが想定される。ガイドの説明を補う目的で、メニューに簡単な説明を付けたものが英語であると便利**。なぜ高知産のこの食材が美味しいなど説明があると良い。また、四万十川の説明や屋形船の歴史などが聞けると良い。ストーリーがあると更に面白い。	・ディナークルーズツアー、コース、地域食材のメニューなどの説明書の整備
幡多エリア	知られざる絶景！沖の島・鵜来島感動クルーズ	○船から絶景を見るのももちろん良かったが、一番感動したのは上陸したとき。**もう少し長く島にいたかった。** ○船から景色を見る単純な観光では少しもったいない。離島を体験できることや、離島の生活を知れることなど、何か繋がれるポイントができると良い。**島の人との触れ合いがほしい。料理も何か島と繋がりができると良い。**	・島内体験、島内案内パンフレットの整備
幡多エリア	足摺岬秘境ハイク	○**ガイディングについては総じて評価が高かった**が、船の上でのガイディングのみ固かったとの評価だった。 ○タイムコントロールが課題との意見もあったが、一方で時間に縛られたくないという意見も外国人専門家から出た。帰りのバスの時間が決まっているので、それに間に合うようにできれば良い。	・ルート改善、ガイドマニュアルの整備
東部エリア	東洋町野根地区農泊体験	○実際に海外から日本にあまり詳しくない旅行者が来ると、布団の敷き方なども分からない。**ハウスルールを英語で準備しておくと良い。**旅行者、施設側双方のストレスを軽減できる。 ○メインコンテンツは野根家の宿泊だが、**野根家に宿泊している人の１つのオプションとして周辺散策を案内できると良い。**	・ハウスルール、宿泊施設周辺マップ等の整備
東部エリア	モネの庭	○**ベジタリアンやビーガンの対応ができているのはとても高評価だった。**1週間前までの予約制というのは少々残念。可能であれば、メニューを1つでもいいので常時提供できるような形にしてもらえると、PRしやすくなる。 ○朝食にしては量が多かったので、遅めの朝食ということで、ブランチのようにしてもいい。ほとんどの観光客が休暇で来ているので、朝はゆっくり宿を出発したいという方も少なくない。	・宿泊とあわせたモネの庭のセット商品、モネの庭での朝食メニューの整備
東部エリア	お遍路体験（第24番札所～第26番札所）	○色々な場所でお遍路体験が出来る中なので、**室戸らしさを出した方が良い。**せっかくきれいな海の近くを歩いていたが、なかなか海が見えなかった。一般の町の風景が少し多かった。**もう少し工夫すると面白いルートができる。**	・ルートの見直し、遍路、ご真言（ローマ字読み）、お遍路の服装、お参りの作法など説明書整備
東部エリア	田舎寿司体験	○**材料の説明等、英語の説明があるといい。**英語ができるスタッフが1名いるが、その方がいなくても**受入ができるようにツールを整えておいた方が良いと思う。**何を質問したらよいかわからないという外国人観光客も少なくないと思うので、ツールがあれば興味をもってくれるきっかけにもなると思う。コミュニケーションをシンプルにとれる方がお互い気持ちが楽で楽しく過ごせると思うので、説明を事前に英訳しておき、それを持って帰れるのはとても良い。	・地域、田舎寿司、食材についての説明書の整備

５．コンテンツ造成・磨き上げ・成果

５．１　造成・磨き上げられたコンテンツ

	コンテンツ名	地域名	パッション	概要
仁淀エリア	護国寺の住職と歩く修行道	日高村	Tradition	人は、どんな人であれ深い自然の中に入ると、自分がただ一人の人間であるということに気づかされます。高知県日高村で、知識豊富な住職の案内で、日本特有の修験道について貴重な体験やエピソードを聞くことができるスピリチュアルな旅に参加できます。 修験道は約1300年前に日本で始まったもので、山の中で厳しい修行に身を置きことで、悟りを得る山岳宗教です。神道、仏教、中国の道教の教えと融合していています。 谷住職の案内で、森や山の中を歩き、（昼食の休息もあり）そして住職が現在も精力的に活動しているお寺へもご案内します。 このツアーは、日本ならではの一面を体験することができます、気さくな住職の案内で山を歩き、また、忍者が修行をしたといわれる有名な猿田洞でケービングへもご案内します。猿田洞は忍者が修行や瞑想を行った洞窟だと言われています。ツアーの総歩行距離は約12kmです。
仁淀エリア	仁淀川ガイドツアー	仁淀川町	Nature	仁淀川は、仁淀ブルーと呼ばれるコバルトブルーに輝く川です。このツアーは中津渓谷の、透明に澄んだ川沿いを歩きながら七福神をめぐる旅です。ガイドの案内で、小さな橋や石神様のそばを通って、2.3kmの道を奥へ奥へと進んでいきます。渓谷の美しさと川の青さを体感し、名野川神楽の発祥の地である神社にも立ち寄ります。 地元の小さな町で休憩と昼食をとり、旅の終わりには、アメリカから高知に移住してきた日系アメリカ人ご夫婦の向井ファミリーが経営するクラフトビール醸造所「Blue Brew」でクラフトビールをお楽しみください。 宿泊先は、旧小学校を改装して造られたしもなの郷です。カップルでもファミリーでも、自然の中で体を動かしたい方にはぴったりのツアーです。
仁淀エリア	仁淀川でのキャニオニング体験	仁淀川町	Outdoor	仁淀アドベンチャーのガイドは、冒険のスタート地点である中津渓谷近くの旧小学校で皆さんをお迎えします。ここはスピリチュアルな渓谷なので、参加者は竜神に祈りを捧げてから、巨石を越え、清らかな川の流れの中を進んできます。 渓谷は徒歩で行ける場所もたくさんありますが、ツアーでは、仁淀キャニオニングガイドがより深い自然の中へとご案内します。ロープを使って谷に降りたり、急流を泳いだり、大きな岩のプールに飛び込んだり、滝の下の洞窟を見に行ったりします。 アドベンチャーを楽しんだ後は、アメリカから高知に移住してきた日本人とアメリカ人の家族であるムカイ家が運営する「Blue Brew」で冷たいクラフトビールをお楽しみいただけます。
仁淀エリア	古民家宿泊体験	越知町	Relaxation	高知の山奥にある古民家に宿泊する体験です。ゲストハウス縁は、高知駅から約1.5時間のところにあり、都会の喧騒はありません！ 標高400メートル、緑豊かな山々を背景に、何世紀にもわたって受け継がれてきた伝統を感じられる古民家に泊まって、そして小さな山村を散策も楽しめます。 伝統的な五右衛門風呂（下にある火で風呂を温める）に入り、満天の星空を眺めたり、山村の集落を散策するのもお勧めです。 ゲストハウス「縁」は、若い起業家によって運営されており、心のこもったおもてなしと夕食にはバーベキューも楽しめます。 お一人でも、カップルでも、グループ旅行でも、思い出に残る滞在になるでしょう。 小さな神社や民家や畑を見ながらゲストハウスの周りを散策するもよいでしょう。ゲストハウスでの宿泊や静かな集落での滞在は、日々の喧騒を忘れさせてくれます。
幡多エリア	竜串ウォーキングツアー	土佐清水市	Nature	四国本島からボートで約80分のところにある沖の島で、入り組んだ地形や透き通る海をクルーズで楽しめます。深く青い海、風や波で爽快なクルージングを堪能いただけます。 沖の島に到着後は、散策をお楽しみいただき島民の生活、文化に触れていただくようになります。保健婦として活躍し、島の乳児死亡率減少にも貢献した荒木初子さんの家もあります。1968年に公開された「孤島の太陽」の映画でも有名です。 島内のトレイルハイキング、レンタサイクル、シーカヤックのオプションもあります。集落のすぐ上にある山頂の神社からは、海と高知県の本土を見渡すことができます。
幡多エリア	四万十川観光遊覧船	四万十市	Cuisine	日本の上流階級の人々は、昔から「屋形船」でゆったりとした夕食を楽しんできました。畳に長テーブル、座布団の昔ながらの日本スタイル。風が通り抜ける開放的な空間で、川や自然との一体感を味わうことができます。 屋形船の乗船は、日本で是非試して欲しい日本の伝統です。殿様になったつもりで、のんびりと木枠の窓から満月を眺めたりすることができます。 夕食は、地元の食材を使った上品な料理の数々と、おいしい地酒やノンアルコール飲料が用意されています。 日本有数の清流である四万十川のほとりで、自然の美しさと上質なお料理を堪能し、空高く飛ぶ鷹の声を感じ、とゆったりとした時間をお過ごし下さい。
幡多エリア	知られざる絶景！沖の島・鵜来島感動クルーズ	宿毛市	Nature	グラスボートに乗って、たくさんの鮮やかなサンゴ礁や魚をガラス越しに見ながら、見残し海岸に向かいます。 見残し海岸を歩いていると岩の中に古代のスナモグリの巣の化石や、人魚の洞窟など、様々な形や大きさの洞窟、海水の浸食でできた岩の裂け目、真っ青な海を見ながらハイキングを楽しみます。最後には森の中の坂道を歩き、展望台へ。丘の上から広がる360℃の国立公園の景色はまさに絶景です。海や太陽を感じ、歴史的な発見に満ちた旅となることでしょう。 地球がどのように形成されたかを肌で感じ学ぶことができ、また、岩盤の中にはこれまでに起こった様々な変化の痕跡が残っており、見所が満載です。
幡多エリア	足摺岬秘境ハイク	土佐清水市	Nature	ツアーは、ジョン万次郎の銅像から始まります。日本人として初めてアメリカに上陸した人物と言われています 。14歳のとき、足摺海岸で小さな漁船が難破し、通りかかったアメリカ船に助けられ、船長の好意でそのままアメリカに行きました。アメリカにて、英語の教育を受けた後に帰国し、1850年～1860年代の幕末時代、日本が開国に向けて歩み始めた際に、通訳として外交面で重要な役割を果たしました。 展望台から海を眺めると、大きな波と岩が多くデコボコした海岸のため、ジョン万次郎の小さな船がどうして難破してしまったか想像することができます。海の先には大きな船がたくさん行き来し、その時助けられた光景を感じることもできます。 ガイドは、椿のトンネルを通り、灯台をご覧いただいた後、足摺7不思議について、美しい海岸沿いを散歩しながら紹介します。 その後、船に乗って海から海岸線を眺め、大都市から高知に移住した2人のサーファーが経営するCAFE 69 LOGで食事とコーヒーを楽しめます。
東部エリア	東洋町野根地区農泊体験	東洋町	Cuisine	高知県の最東端に位置する東洋町に佇む、日本家屋をリノベーションした農家民宿に宿泊し、伝統料理こけら寿司作りを体験します。 こけら寿司は祝いの席や神祭のために各家庭で作られてきた東洋町の郷土料理です。 布団を敷いて眠り、ゆったりした村の雰囲気を「味わい、こけら寿司（お祝いの席で提供される押し寿司）の作り方を学びます。作ったこけら寿司は夕食で召し上がっていただき、朝にも炭火で焼き、違った食感を楽しんで頂きます。高知の素朴な集落の雰囲気を味わってください。 お食事は農家のお母さんたちが丁寧に手作りしています。できるだけ高知県の食材を使いながら、身体に優しい野菜を中心としたヘルシーな手料理です。 （ベジタリアン・ビーガンの方もご相談ください。）
東部エリア	モネの庭	北川村	Cuisine	世界中で親しまれている柚子は、高知県の名物です。北川村温泉ゆずの宿では、四季折々の雄大な山並みを眺めながら宿泊できるだけでなく、ゆずを使ったおいしい料理も楽しめます。ゆったりとした時間の流れの中で、お過ごしいただけます。 翌朝は、モネがこよなく愛したフランス・ジヴェルニーの庭をモデルに造られている「モネの庭」をご堪能いただき、庭園内の明るいカフェで、地元の食材を使った洋風の朝食をお召し上がりいただきます。事前にご連絡いただければ、ビーガンやベジタリアンのお客様のご要望にもお応えいたします。 モネの庭は、モネがこよなく愛したフランス・ジヴェルニーの庭をモデルに創られています。 色とりどりの睡蓮とゆらめく水面、太鼓橋や藤棚、バラのアーチ、混ざり合う光と花の色。庭を散策すると、彼が描いていた風景をかいまみることができます。
東部エリア	お遍路体験（第24番札所～第26番札所）	室戸市	Tradition	四国八十八ヶ所を巡る「お遍路」は、日本のみならず世界的にも有名な巡礼路です。 高知県でのお遍路は東から西を通り、室戸では24番札所と26番札所の間の11kmのルートを歩くことができます。 室戸には弘法大師として知られる空海に関連する場所がいくつかあります。真言宗の開祖であり、お遍路とも深い繋がりがあります。特に室戸岬は空海が修行をし、悟りを開いたところとしても重要な場所です。 ツアーではガイドが同行し、訪れた札所でのお遍路の作法やお祈りの仕方について丁寧に紹介します。ツアーは室戸岬から始まり、畑を抜けて、山の上にあるお寺で終了となります。 お遍路を実際に一部体験して頂くことで、スピリチュアルな一面に触れて頂くことで、お遍路が世界中でとても人気である理由を知ることができるでしょう。
東部エリア	田舎寿司体験	北川村	Cuisine	高知の地元の方からいなか寿司の作り方を教わることができ、子どもから大人まで楽しめる体験レッスンです。北川村は、田舎寿司に欠かせない柚子の産地としても知られています。つまり、地元のゆずをその土地で楽しむことができるのです。 田舎寿司は、野菜を中心とした食材で作られている他、グルテンフリーの対応も可能なので、様々な食の好みの方にご満足頂ける料理教室です。5種類の野菜寿司を作り、レッスン終了後、自分で作ったお寿司を昼食としてお召し上がりいただきます。地元の人たちと触れ合い、一緒に体験しながら。楽しい時間をお過ごしいただけます。 ベジタリアンやビーガンの方も安心してお召し上がりいただけます。

５．２　事業目標

アウトプット・アウトカムの目標を達成することができた。

	項目	目標	実績（3月末）
アウトプット	コンテンツ造成・磨き上げ数	12	12
アウトカム	コンテンツ・旅行商品数	12	12

仁淀ブルーキャニオニング（高知県仁淀川町）

事業実施前に地域が抱えていた課題

・少しハードな内容なので、ターゲッティングが狭くなること
・新たな需要の獲得のために新コースの造成などを考えているが、スタッフ不足により進んでいない。
・他地域でも類似するコンテンツが存在するのでどの様にして差別化を図るか。

課題に向けた打ち手

- 日本語しかないガイドマニュアルの英語版を作成し、外国人ガイドを含め、多様な人材がガイドとして活躍できる環境を整える。
- マニュアルの内容には地域のついての説明などを入れることにより、アクティビティだけでなく、歴史、文化的な要素も学べるようになった。

コンテンツを活かした商品概要

○概要　　スピリチュアルな渓谷なので、参加者は竜神に祈りを捧げてから、巨石を越え、清らかな川の流れの中を進んできます。
渓谷は徒歩で行ける場所もたくさんありますが、ツアーでは、仁淀キャニオニングガイドがより深い自然の中へとご案内します。ロープを使って谷に降りたり、急流を泳いだり、大きな岩のプールに飛び込んだり、滝の下の洞窟を見に行ったりします。

○料金　8,500円～
○対応言語　日本語、英語
○所要時間　3時間

足摺海岸ディスカバリーウォーク＆ボートクルーズ（高知県県土佐清水市）

事業実施前に地域が抱えていた課題

・足摺岬・唐人駄場巨石群・臼碆海岸のスポットの移動手段がマイカー、レンタカーの想定であり、インバウンドにはハードルが高かった。

課題に向けた打ち手

・ターゲットするオーストラリア人などは徒歩での移動を苦にしないとの有識者からの意見により、景観を楽しむだけではなくウォーキング要素を入れたコンテンツ造成を行った。

・ガイドを付けたウォーキングコンテンツとするため、コンテンツを円滑に実施するためのマニュアルの整備を行った。

コンテンツを活かした商品概要

○概要　　ツアーは、ジョン万次郎の銅像から始まります。日本人として初めてアメリカに上陸した人物と言われています。14歳のとき、足摺海岸で小さな漁船が難破し、通りかかったアメリカ船に助けられ、船長の好意でそのままアメリカに行きました。アメリカにて、英語の教育を受けた後に帰国し、1850年～1860年代の幕末時代、日本が開国に向けて歩み始めた際に、通訳として外交面で重要な役割を果たしました。
展望台から海を眺めると、大きな波と岩が多くデコボコした海岸のため、ジョン万次郎の小さな船がどうして難破してしまったか想像することができます。海の先には大きな船がたくさん行き来し、その時助けられた光景を感じることもできます。

○料金
2人の場合　12,000円/人
3人～4人　9,000円/人
5人～6人　7,000円/人
7人以上　5,000円/人
○対応言語　日本語、英語
○所要時間　6時間30分

田舎寿司作り体験（高知県北川村）

事業実施前に地域が抱えていた課題

・田舎寿司自体は他の地域ではあまり見たことのないものであるが作って食べるだけでなく、学びの要素などが必要である。

課題に向けた打ち手

・常時行えないが、お酢の代わりに使用されるゆず酢のゆずの収穫する体験を取り入れるなどにより、満足度を高めるコンテンツ造成を行った。
・田舎寿司に使用される食材は地域独自のものが多かったので、食材の説明書を整備することにより学びの要素を取り入れた。

コンテンツを活かした商品概要

○概要　　高知の地元の方からいなか寿司の作り方を教わることができ、子どもから大人まで楽しめる体験レッスンです。北川村は、田舎寿司に欠かせない柚子の産地としても知られています。つまり、地元のゆずをその土地で楽しむことができるのです。
田舎寿司は、野菜を中心とした食材で作られている他、グルテンフリーの対応も可能なので、様々な食の好みの方にご満足頂ける料理教室です。5種類の野菜寿司を作り、レッスン終了後、自分で作ったお寿司を昼食としてお召し上がりいただきます。地元の人たちと触れ合い、一緒に体験しながら。楽しい時間をお過ごしいただけます。

○料金　5,000円
○対応言語　日本語、英語
○所要時間　2時間